2022年4月11日

地区ガバナーの皆様

地区ガバナーエレクトの皆様

**ウクライナにおける人道的危機に対応するための**

**災害救援基金（ウクライナ支援）へのご支援のお願い**

謹啓

桜が咲き誇り、春爛漫の日々でございます。皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素はロータリー財団活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、度々のお願いで恐縮ですが、ウクライナにおける人道的危機に対応するために

救援活動支援の資金へのご支援を改めてお願い申し上げます。

2018⁻20年度の私と同期理事のポーランドのPiotr Wygnańczukさんから悲痛な声が届いています。要約は下記のとおりです。

「21世紀にもなって、一国が自分の国の領土を侵略しているなんて、信じられないことです。ウクライナからの難民の数は増え続けています。私たちは国境で難民を迎え入れ、彼らのためにアパートやホテルの部屋を探そうと努力しています。様々な物資の需要も高まっています。資材の種類は時々刻々と変化しています。例えば、当初は衛生用品や医薬品が多く必要とされていましたが、現在は食料が多く必要とされています。私たちの予算は十分ではないので、他の国から資金を調達しています。

ロータリアンとローターアクターが寛大さを示し、さらに多くのお金を集めてくださることを願っています」

ピオトルさんは、避難してきた人々の一人でも多くの母親や子供たちを助けたいとの一心で、老骨に鞭を打ち、日々救援活動に力を注いでおられます。

日本の皆様からの災害救援基金（ウクライナ支援）へのご支援の現況は次の通りです。

☆DDF：日本の34地区中14地区から535,000ドルを既にいただいており、

他3地区が寄贈のご検討をいただいております。

☆現金寄付：750,000ドル以上（3月仮集計）お預かりしています。

これ以外にも、財団を通さずに、個人、クラブ、地区レベルで直接ご支援いただいていることを考えると大変寛大なご支援をしてくださっています。心から感謝申し上げます。

因みに、世界では、DDFを含めて約7,300,000ドルのご支援を頂いております。

[**ウクライナ危機へのロータリーの対応**](https://www.rotary.org/ja/rotary-responds-ukraine-crisis)

[**ロータリーのネットワークがウクライナ難民に迅速な人道支援**](https://www.rotary.org/ja/rotarys-network-enables-rapid-humanitarian-relief-for-ukrainian-refugees)

財団室では、財団室NEWSの発行以来、初めての号外を出しました。添付をご覧ください。

2022年4月30 日まで、未配分の地区財団活動資金（DDF）を災害救援基金に充て、 ウクライナと関連する人道的補助金を支援することができます。

尚、災害救援基金（ウクライナ支援）への日本円でのご寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。

これからご支援をご検討くださっている地区は、GWがありますので早めにご支援をお願いしたく、よろしくお願い申し上げます。

加えて、貴地区ロータリークラブの皆様ならびにローターアクトクラブの皆様にもご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

ご寄付の手続きなど、ご不明のことがありましたら、財団室までお問合せください。

国際ロータリー日本事務局 | 財団室

Email: RIJPN.TRF@rotary.org

Tel 03-5439-5805　FAX 03-5439-0405

皆様の寛大なご支援を心からお待ち申し上げます。

尚、コロナ感染症の収束が見えないままですが、お身体くれぐれもご自愛ください。

貴地区の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

謹白

ロータリー財団　管理委員

平和のための大口寄付推進計画委員会リエゾン管理委員

三木　明　　　（姫路RC）

添付：　財団室NEWS 2022年号外

財団室NEWS 2022年4月号

ポーランドでの避難民受け入れの様子